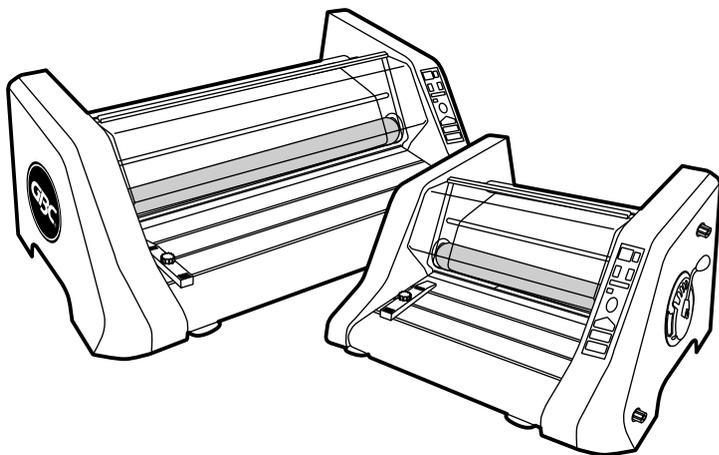




# 取扱説明書

## ロールラミネーター B65A1 / B35A3



### はじめに

このたびは弊社ラミネーターをお買求めいただき、ありがとうございました。  
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、  
未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。  
本取扱説明書は必ず保管してください。

### 目次

1.内容物の確認	1
2.ご使用上の注意	2
3.各部の名称と働き	4
4.ラミネート作業上の注意	7
5.準備	8
開梱方法	
設置場所	
ラミネートする前に	
電源の接続	
6.フィルムのセット・交換	11
前のフィルムがセットされている場合	
前のフィルムがセットされていない場合	
7.操作方法	16
フィルムテンションの調整	
ジャミングを起こした場合	
8.お手入れ方法	21
9.こんなときは	22
10.製品仕様	24
◆保証とサービス	



アコ・ブランド・ジャパン株式会社

お客様へ

小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。  
また使用しない時は、電源プラグを抜いてください。

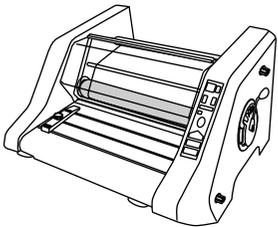
本機はロールフィルムの糊を溶かすためにヒーターを使用しております。ヒーター使用機器は使用初期に若干の発煙・臭気が発生することがございます。製造上の制約で、完全に無くすることが出来ませんのでご理解下さい。これは使用回数を経ることで減少しますが、数回使用しても発煙・臭気が減少しない場合は使用を中止し、弊社お客様相談窓口にご相談ください。

本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。

1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

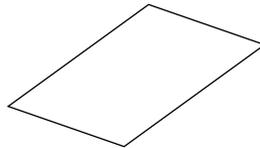
マシン本体



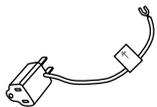
フィルム排出サポート



フィルム通し板



電源アダプター  
(アース端子付)



取扱説明書(本書)



必ずアース線を接続してご使用ください。  
電源プラグをコンセントへ接続する前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す時は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

2・ご使用上の注意

表示の意味

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

**警告**



危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。  
思わぬけがをする恐れがあります。



ヒートローラーおよびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。  
高温のため、やけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。  
けがをする原因になることがあります。  
万一引き込まれたときは【STOP(X)】ボタンを押して取り除いてください。



濡れた手で電源プラグを抜わないでください。  
感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。  
火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。  
感電や思わぬけがをする恐れがあります。



本体内部へのエアスプレイの使用は絶対にしないでください。  
発火する恐れがあります。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。  
火災、感電の恐れがあります。

## ⚠ 注意



本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れ  
ないでください。  
火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。  
また、加工を終了した場合は主電源スイッチを必ずオフにしてください。



フィルム排出口にスライドカッターがあります。手を傷つけない注意して  
ください。  
火災、感電の恐れがあります。



絶対に本体の上に物を置かないでください。  
本体上面は高温になります。



本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを  
取り出せるスペースを充分に取ってください。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。  
火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。  
火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。  
火災、感電の恐れがあります。

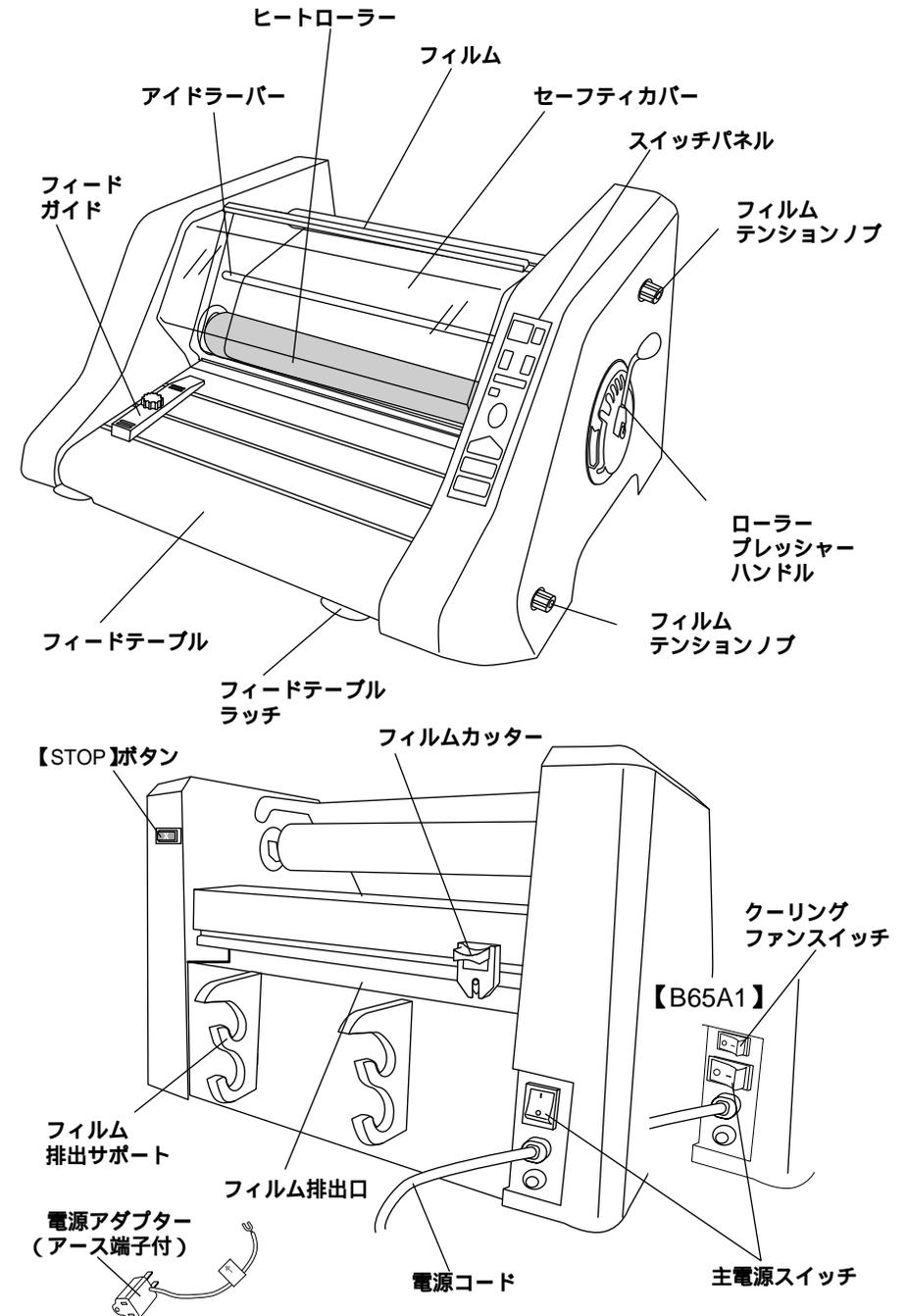


必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるよ  
うに、コンセントの近くにもものをおかないでください。



電源は、延長コード含め、定格15A以上・交流100Vのコンセントを必ず単  
独でご使用ください。タコ足配線はしないでください。  
電源プラグをコンセントに接続する前に必ずアース接続をしてください。ま  
た、アース接続を外す際は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行  
ってください。  
感電や発熱による火災の原因になります。

## 3・各部の名称と働き



## フィードテーブル

加工物をのせ、フィルムの間を送るためのテーブルです。このテーブルが正しくセットされていませんと機械は作動しません。

### フィードテーブルラッチ

フィードテーブルを上げる時は、左右にあるラッチを押しなが下へ下げてください。

### フィードガイド

まっすぐに挿入するために加工物の左側面をこのガイドに合わせます。ノブを閉めてガイドを固定してください。加工物の大きさに合わせてガイドをスライドさせ調整してください。

### アイドラーパー

フィルムのしわを取り除くために、フィルムは必ずアイドラーパーを経由してからヒートローラーへ入れてください。下部のアイドラーパーはフィードテーブルの裏にあります。

### ヒートローラー

フィルムの接着面を溶かし、加工物とフィルムを圧着します。ヒートローラー後部のブルローラーがより圧着を強化します。また、ブルローラーは加工物を送る動力になります。

### フィルム

使用するフィルムを上下にセットして使用します。

### セーフティカバー

高温になっているヒートローラーに手などが接触することを防ぎます。安全スイッチ機能でもあり、このカバーが正しくセットされていないと機械は作動しません。

### スイッチパネル

操作（スタート、逆転）や温度/速度設定などを全てこのスイッチパネル上で行います。（後述「スイッチパネル」の項を参照してください。）

### フィルムテンションノブ

上下にあるこのノブを操作してフィルムのテンションを調整してください。

### ローラープレッシャーハンドル

使用するフィルム、加工物等に合わせ、ローラーのプレッシャーをセットしてください。

### フィルム排出口

ラミネートされた加工物は背部のここから排出されます。

### フィルム排出サポート

ラミネートされた加工物が急激に下方に排出されないよう加工物を支えます。

### 【STOP】ボタン

ジャミング等トラブルが発生した場合はマシン背部にある【STOP】ボタンを押して停止させてください。スイッチパネルの【STOP】ボタンも同じ機能を持ちます。。

### フィルムカッター

ラミネートが終了して排出されたフィルムを、このカッターを押しながスライドさせて切ってください。

### 主電源スイッチ

この主電源スイッチを入れて、マシン本体の電源を入れます。スイッチパネルを操作しないと作動しません。

### クーリングファンスイッチ【B65A1限定】

連続したラミネートを行う際などの加工物を冷却するために、クーリングファンを作動させることができます。

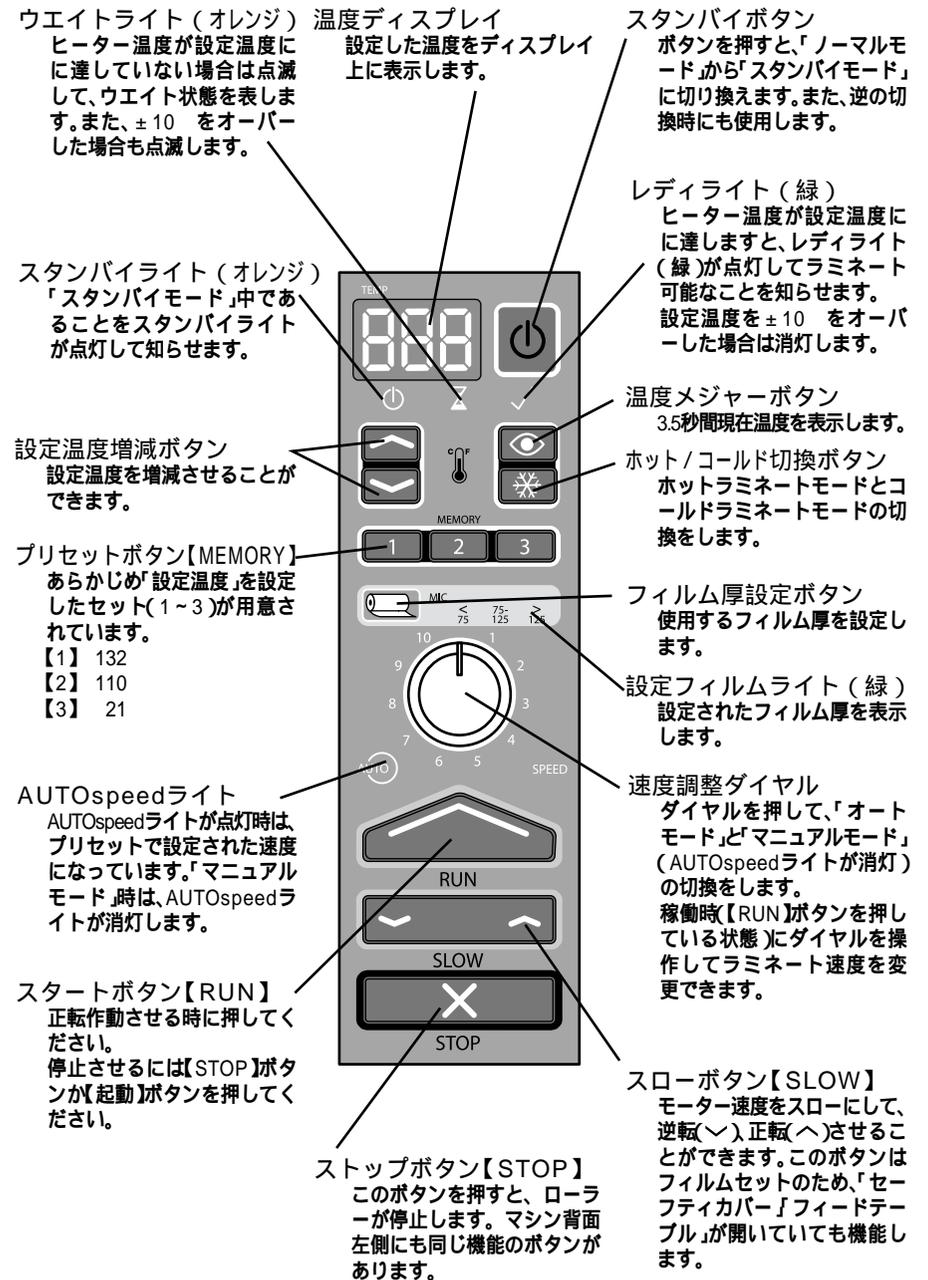
### 電源コード

電源コードを、AC100Vのコンセントへ差し込んでください。

### 電源アダプター（アース端子付）

アース端子はアースターミナルのあるコンセントか、適切な接地のできる端子に接続してください。電源プラグをコンセントへ接続する前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す時は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

## スイッチパネル



## 4・ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

### 重要 ご使用になる前に必ずお読みください。

このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユボ等はラミネートしないでください。

和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。

可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。

再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。

フィルムを含めて厚さ6mm以上になるものはラミネートしないでください。

インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

### ⚠ 注意

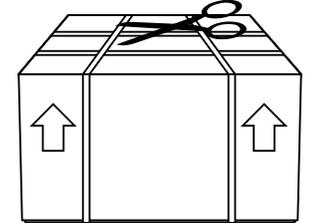


間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。(有償修理対象となります。)

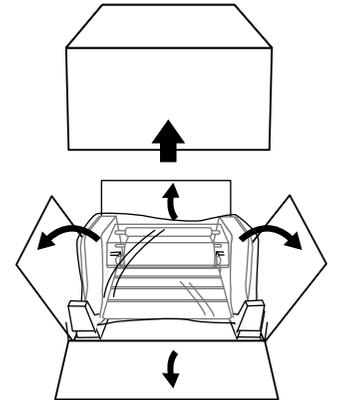
## 5・準備

### 開梱方法

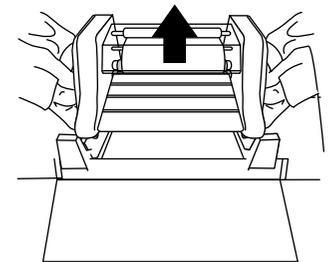
梱包テープを切ってください。



上部フタ部を引き上げて外してください。  
次に、下部カートンを四方に倒してください。



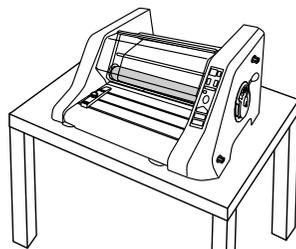
マシンを包んでいるビニール袋を切って、取り外します。  
二人で持ち上げて、下部カートンから外してください。



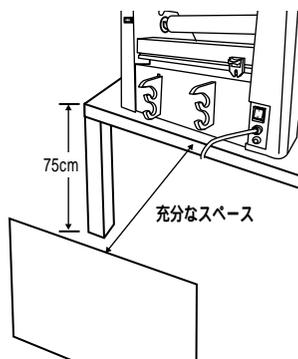
重量がありますので、必ず二人で行ってください。

## 設置場所

設置場所は、水平で、しっかりした、転倒の危険のない台へ設置してください。  
重量(マシン本体+フィルムを合わせて約60kg)がありますので、十分に注意を払って設置場所を決めてください。



作業スペースを確保するために、高さ75cm以上の台を使用してください。  
また、ラミネートされ排出された加工物を保護するために、マシン後部のスペースは充分に取ってください。



## ⚠ 注意

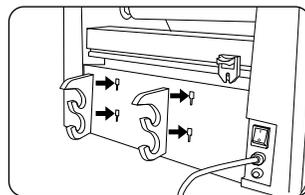


静電気により、加工完了物が逃げ場を失いローラーに巻き込まれることがありますので、フィルム排出口にフィルムが溜まらないように注意してください。

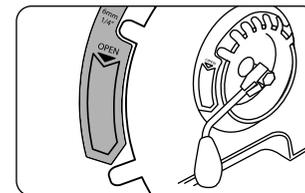
冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。  
火災、感電の恐れがあります。

## ラミネートする前に

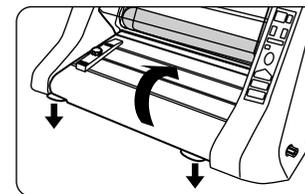
付属のフィルム排出サポートをマシン背面のセット孔にセットしてください。



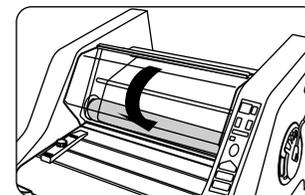
マシン右側面にあるローラープレッシャーハンドルを「OPEN」の位置にして、プレッシャーを解除しておいてください。



フィードテーブルを、左右にあるラッチを押しながら上げて、しっかりとセットしてください。



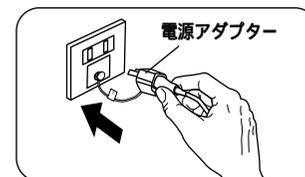
セーフティカバーをしっかりと下まで押し下げてください。



フィードテーブル・セーフティカバーがきちんとセットされていませんと安全のために作動しません。

## 電源の接続

電源コードに付属の電源アダプターをセットして、アース接続をしてから、定格15A以上・交流100Vのコンセントに接続してください。



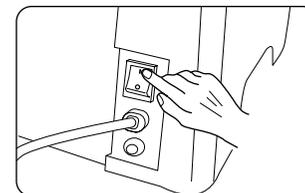
電源コードを接続する時は、下記の点にご注意ください。

タコ足配線はしないでください。

アース接続を外す際は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにもものをおかないでください。

マシン背面にある主電源スイッチをオン( I )にしてください。ウォームアップに入ります。



## 6・フィルムのセット・交換

フィルムのセット・交換は下記の点に注意して行ってください。

フィルムの残量が少なくなり、赤色の帯テープが出ましたら、もう少しでフィルムの末端です。新しいフィルムと交換してください。

フィルムのセット・交換は上下のフィルムとも同時に行ってください。上下どちらか一方のフィルムだけで作動させますと、フィルムののり面がヒートローラーに接着し、ヒートローラーを汚しますので注意してください。

### 警告



ヒートローラーは高温になっていますので、注意してください。  
高温のため、やけどをする恐れがあります。

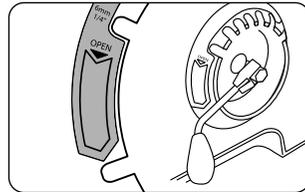
### 警告



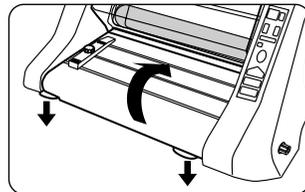
ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。  
けがをする原因になることがあります。  
万一引き込まれたときは【STOP】ボタンを押して取り除いてください。

### 前のフィルムがセットされている場合

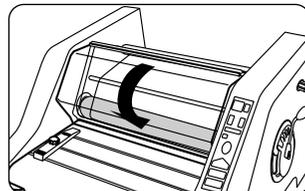
マシン右側面にあるローラープレッシャーハンドルを「OPEN」の位置にして、プレッシャーを解除しておいてください。



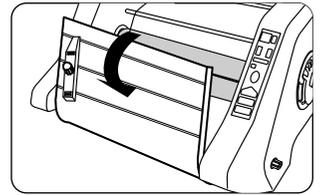
電源コードに付属の電源アダプターをセットして、アース接続をしてから、定格15A以上・交流100Vのコンセントに接続してください。



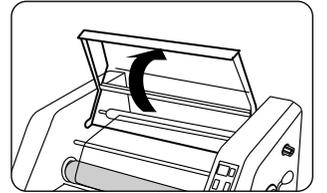
マシン背面にある主電源スイッチをオン( I )にしてください。



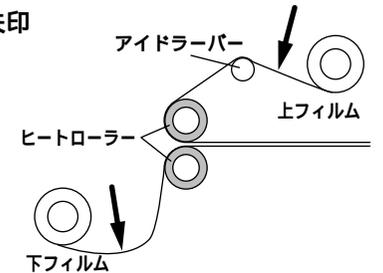
セーフティカバーを一杯まで開けてください。



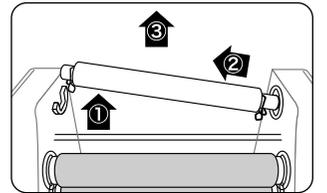
フィードテーブルを、左右にあるラッチを押しながら下げて、一杯に開けてください。



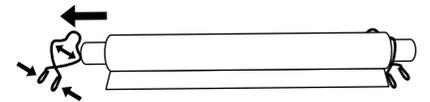
右図のように、セットされていたフィルムを矢印の所で上下とも切り離してください。



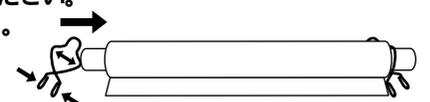
切り離したフィルムシャフトを外してください。まず、左側を上げて、左側へスライドさせながら右側も外します。下フィルムも同様に外します。



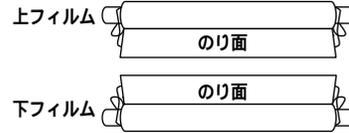
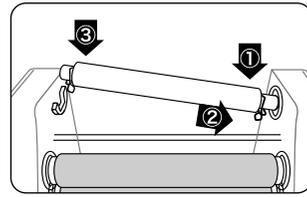
シャフト左側のフィルムストッパーを挟み、スライドさせてシャフトから外してください。その後、フィルムをシャフトから抜いてください。下フィルムも同様に抜きます。



新しく用意したフィルムをシャフトに差し込んでください。その後、外したフィルムストッパーを挟んでスライドさせ、フィルムを固定してください。フィルムののり面の向きに注意してください。



新しいフィルムセットしたシャフトを右側からシャフト受けに差し込んでください。その後、左側もシャフト受けに入れます。  
右図のように、フィルムのり面の向きに注意してセットしてください。



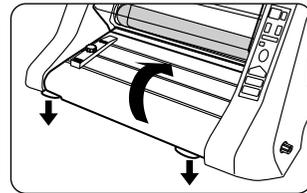
新しい「下フィルム」の先端部をアイドラーバー上まで引き出し前にフィルムの上に重ねます。次に、新しい「上フィルム」の先端部をヒートローラーの下まで引き出し「下フィルム」上に重ねます。前のフィルムは熱で溶けていますのでフィルム同士が接着されます。  
この時、重ね合わせるフィルムの左右の端を揃えてください。



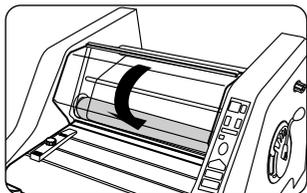
**警告**

ヒートローラーは高温になっていますので、注意してください。  
高温のため、やけどをする恐れがあります。

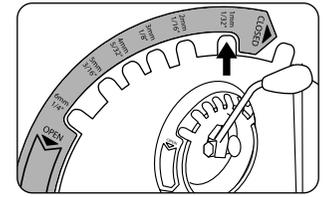
フィードテーブルを、左右にあるラッチを押しながら上げて、しっかりとセットしてください。



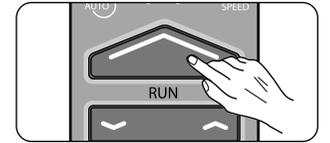
セーフティカバーをしっかりと下まで押し下げてください。



マシン右側面にあるローラープレッシャーハンドルを「1mm」の位置にして、プレッシャーをかけてください。



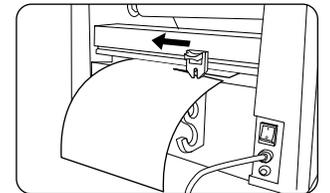
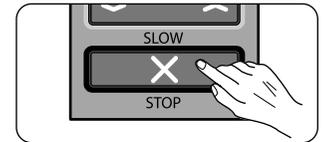
【RUN】ボタンを押してラミネートをスタートさせます。フィルム排出口から新しくセットされたフィルムが排出され、しわがなく排出されることを確認してください。



**警告**

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。  
けがをする原因になることがあります。  
万一引き込まれたときは【STOP】ボタンを押して取り除いてください。

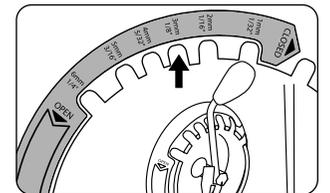
【STOP】ボタンを押して停止させます。  
排出されたフィルムをフィルムカッターを使用し切り離してください。  
準備完了です。



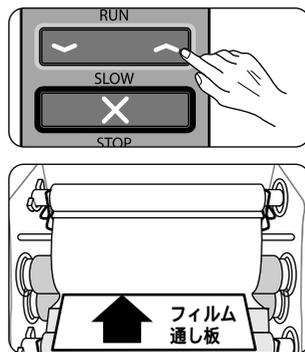
**前のフィルムがセットされていない場合**

フィルムの外し方・取り付け方は前項(11~12ページ ~ )で説明した要領で行ってください。

マシン右側面にあるローラープレッシャーハンドルを「3mm」の位置にして、プレッシャーをかけてください。



付属の「フィルム通し板」を上下ヒートローラーの間に差し込み、【SLOW】ボタン(へ)を押しながら、「フィルム通し板」がフィルム排出口から排出されるまで続けてください。ボタンを押してラミネートをスタートさせます。フィルム排出口から新しくセットされたフィルムが排出され、しわがなく排出されることを確認してください。

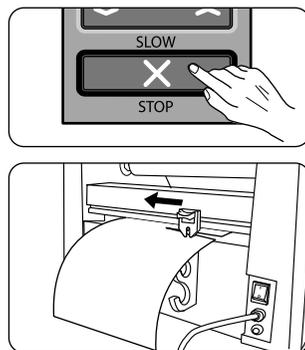


**警告**

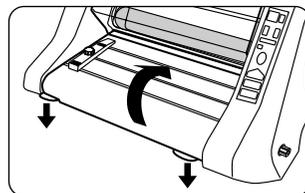


ヒートローラーは高温になっていますので、注意してください。  
高温のため、やけどをする恐れがあります。

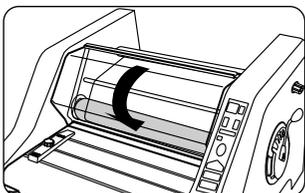
【STOP】ボタンを押して停止させます。排出されたフィルムをフィルムカッターを使用して切り離してください。



フィードテーブルを、左右にあるラッチを押しながら上げて、しっかりとセットしてください。

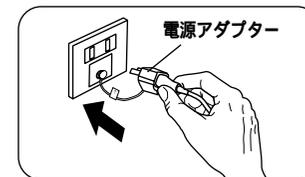


セーフティカバーをしっかりと下まで押し下げてください。準備完了です。

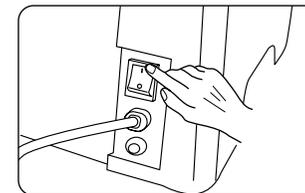


**7・操作方法**

電源コードに付属の電源アダプターをセットして、アース接続をしてから、定格15A以上・交流100Vのコンセントに接続してください。



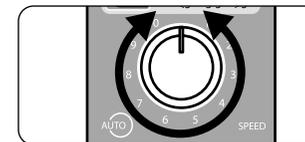
マシン背面にある主電源スイッチをオン(I)にしてください。



使用するフィルム厚に合わせて、フィルム厚設定ボタンと温度設定増減ボタンを押して設定してください。レディライト(緑)が点灯するまでお待ちください。



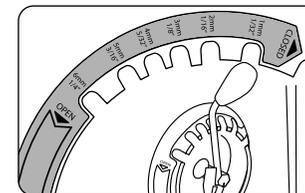
使用する加工物に合わせて、速度調整ノブを操作して速度を設定してください。



**速度/温度ガイド(目安)**

フィルム厚	加工物	設定温度	設定速度
42 μm	コピー用紙	110	4
	カタログ紙		4
	ボード紙		3
100 μm	コピー用紙	110	3
	カタログ紙		3
	ボード紙		2

加工物に合わせて、ローラープレッシャーハンドルを操作してプレッシャー値を設定してください。

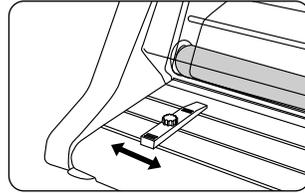


フィードテーブルに加工するものを用意してください。

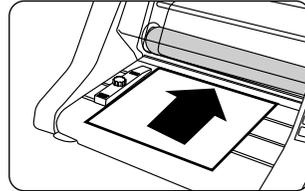
**フィードガイド**

同じサイズのを繰り返しラミネートする場合は、フィードガイドを利用してください。

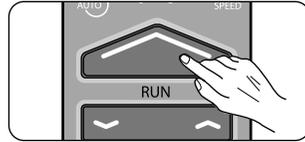
加工物の大きさに合わせて、フィードテーブル左側にあるフィードガイドを移動させて位置を決め、しっかり固定してください。



【RUN】ボタン(へ)を押し、加工物をスライドさせてヒートローラー間に入れてください。

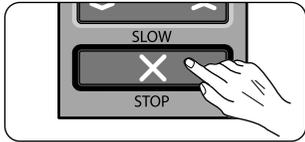


連続して加工する場合は、先に挿入した加工物が完全にヒートローラーの中に入ったことを確認してから次の加工物を入れてください。

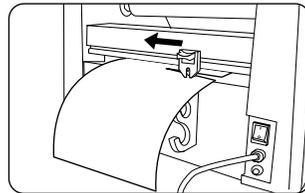


マシン背面のフィルム排出口からラミネートされたものが排出されましたら、【STOP】ボタン(X)を押しして停止させてください。

排出されたフィルムが背部で、フリーの状態では排出されていることを確認してください。



マシン背面のフィルムカッターを押しながらスライドさせて、ラミネートされたものを切り離してください。

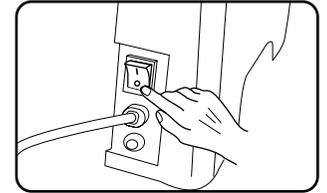


**スタンバイモード**

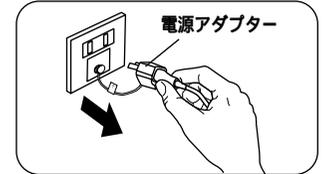
停止させた状態は「スタンバイモード」になっています。

ラミネート終了後に他のラミネートする予定がある場合は、「スタンバイモード」を維持し、スイッチパネルの【スタンバイ】ボタン(⓪)を押しして「スタンバイモード」を解除してください。レディライト(✓)が点灯するまでお待ちください。

マシン背面にある主電源スイッチをオフ( )にしてください。



電源プラグをコンセントから抜いてください。その後にアース線を外してください。



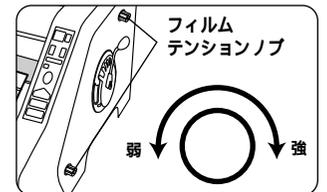
**オートシャットオフ機能**

電源が入ったまま約2時間以上ご使用されない場合は、自動的に休止します。再度ご使用になる場合は、マシン背面の主電源スイッチをオン「I」にして、ご使用ください。

**フィルムテンションの調整**

使用するフィルムにより、フィルムのかかるテンションを調整してください。フィルムのテンションが弱いと「しわ」になる要因となり、また、強すぎますと「伸びる」要因となります。上と下のフィルムにかかるテンションは同程度にセットしてください。どちらか一方が強かったり、弱い場合は仕上がりがカールする要因となります。

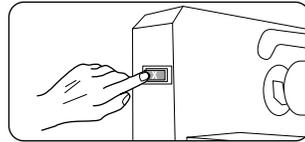
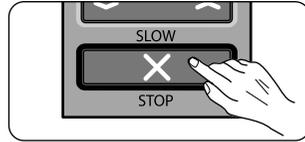
右図のようにテンションノブを「右」へ回すと「強く」なり、「左」へ回すと「弱く」なります。



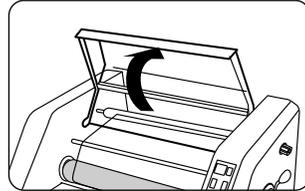
ジャミングを起こした場合

排出されるべきフィルムが排出されない場合は、下記のような方法で対処してください。

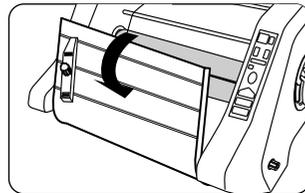
すぐに、【STOP】ボタン(X)を押して停止させてください。  
【STOP】ボタン(X)スイッチパネル上とマシン背面の2ヶ所あり、どちらも有効です。



セーフティカバーを一杯まで開けてください。



フィードテーブルを、左右にあるラッチを押しながら下げて、一杯に開いてください。



警告



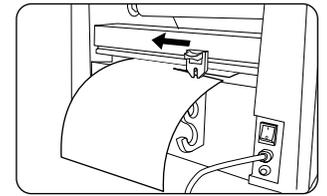
ヒートローラーは高温になっていますので、注意してください。  
高温のため、やけどをする恐れがあります。

警告

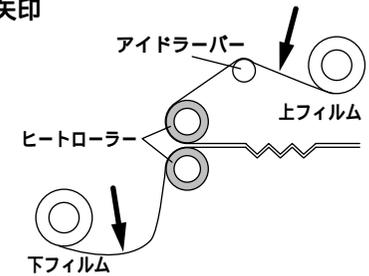


ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まないようにしてください。  
けがをする原因になることがあります。  
万一引き込まれたときは【STOP】ボタンを押して取り除いてください。

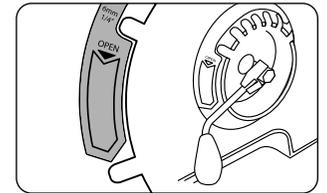
フィルム排出口から完了している加工物をフィルムカッターで切り離してください。



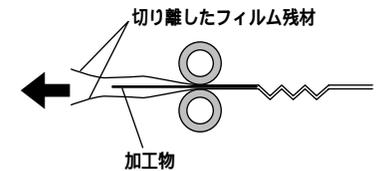
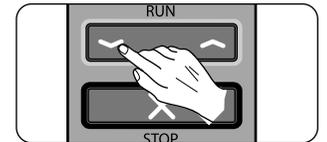
右図のように、セットされていたフィルムを矢印の所で上下とも切り離してください。



マシン右側面にあるローラープレッシャーハンドルを「OPEN」の位置にして、プレッシャーを解除しておいてください。



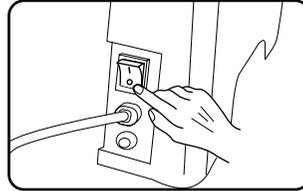
フィルムを切り離して残ったフィルム残材(ジャミングを起こした加工物と一緒に)を【SLOW】ボタン(∨)を押しながら手前に引き出してください。残っているフィルム全てを取り除きます。



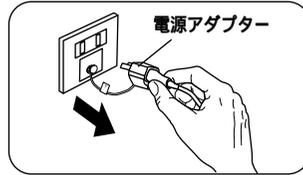
前述の「フィルムセット・交換」(目のフィルムがセットされていない場合)を参考に、フィルムをセットし直してください。

## 8・お手入れ方法

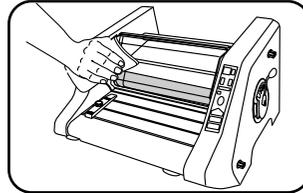
マシン背面にある主電源スイッチをオフ「O」にしてください。



電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。



マシン本体はやわらかい布でから拭きをしてください。



汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。



**警告**



ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。  
感電や思わぬけがをする恐れがあります。

## 9・こんな時は

現象	原因	対処法(参照ページ)
電源が入らない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか? 主電源スイッチが入っていますか?	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。(10・16ページ) マシン背面の主電源スイッチをオン「I」にしてください。(10・16ページ)
作動しない	セーフティカバーがしっかりと閉まっていますか? フィードテーブルがしっかりと閉まっていますか? 【RUN】ボタンを押しましたか? プレッシャーハンドルが「OPEN」の位置にありますか?	セーフティカバーを「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。(16ページ) フィードテーブルをしっかりと閉じてください。(16ページ) スイッチパネルの【RUN】ボタンを押して、ラミネートをスタートさせてください。(17ページ) 加工するものと厚さに合わせて、プレッシャー値を設定ください。(16ページ)
ラミネートができない	コールドラミネートモードになっていませんか? 電源を入れた後、フィルム厚設定ボタンを押しましたか? レディライト(緑)が点灯していますか? クーラーの冷気が直接当たっていませんか?	スイッチパネルの「ホット/コールド」切替ボタンを押してホットラミネートモードにしてください。(6ページ) フィルム厚設定ボタンを押して温度を設定してください。ウォームアップを開始します。(16ページ) ウォームアップが完了し、レディライト(緑)が点灯するまでお待ちください。(16ページ) クーラーなどの冷気から離してご使用ください。(9ページ)
ラミネートフィルムがはがれる	紙以外の材質のものをラミネートしていませんか? プリンターで出力したものですか?	紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。(7ページ) プリンターのインク・トナーによっては接着しないものがあります。プリンターを変えて出力し直して試してください。(7ページ)

現象	原因	対処法（参照ページ）
加工表面が波を打っている / 気泡ができる	設定温度が高すぎます。	スイッチパネルの設定温度増減ボタンを(∨)操作して設定温度を下げてください。 (6ページ)
	設定速度が遅すぎます。	スイッチパネルの速度調整ダイヤルを操作してラミネート速度を上げてください。 (6ページ)
	連続加工を長く続けていますか？	加工物を引き出すプルローラーが熱くなっています。しばらく電源を切って、温度を下げてからラミネートしてください。 (6ページ)
仕上がりが白っぽく曇っている	設定温度が低すぎます。	スイッチパネルの設定温度増減ボタンを(∧)操作して設定温度を上げてください。 (6ページ)
	設定速度が速すぎます。	スイッチパネルの速度調整ダイヤルを操作してラミネート速度を下げてください。 (6ページ)
加工表面にしわができる / カールができる	上下に状態の違うフィルムがセットされていませんか？	同じ長さ、同じ厚さのフィルムを使用してください。 (11ページ)
	フィルムのテンションが上下均等に調整されていますか？	しわやカールがなくなるように上下のテンションを調整してください。 (11ページ)
フィルムが排出口から出てこない	ジャミングを起こしています。	マシンを直ちに停止させ、前述 ジャミングを起こした場合 指示のように詰まったものを取り除いてください。 (19ページ)

## 10・製品仕様

商品名	ロールラミネーター	
	B 6 5 A 1	B 3 5 A 3
品番	GDRB65A1	GDRB35A3
サイズ(W) x (D) x (H)	973 x 639 x 366 mm	617 x 639 x 366 mm
質量 kg	54.0 kg	34.0 kg
電源	AC 100 V, 50/60 Hz	
定格消費電力	1500 W	1000 W
最大ラミネート幅	A1 (635 mm)	A3 (316 mm)
最大ラミネート厚	5 mm	
ラミネート速度	0.3 ~ 2.7 m/分(50/60Hz)	
ラミネート温度	常温 ~ 149	
加熱方式	ヒートローラー方式	
ウォームアップ	約20分	約10分
オートシャットオフ機能	約2時間後	

# 保証とアフターサービス

保証書は内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

販売店印及びお買い上げ年月日の記入の無いもの、または購入証明(レシート等)を確認できない場合は無効となりますのでご注意ください。

保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき無料修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または弊社へお申し出ください。

(1)保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- ・ 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- ・ お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷
- ・ 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷
- ・ 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷
- ・ 本書、または購入証明(レシート等)の提示が無い場合
- ・ 本書のお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

(2)本機は専門業者様の業務用途には適しません。

(3)ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。

(4)本書は日本国内においてのみ有効です。

(5)本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

(6)補修用性能部品の保有期間は製造終了後5年間です。同等機種との交換により修理対応とさせて頂く場合もございます。

(7)製造終了後5年を超えますと、修理対応を終了いたします。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

## 修理やアフターサービスについてのお問い合わせ

 [jp.service@acco.com](mailto:jp.service@acco.com)

 **050-3785-6053**  
平日 9:00-17:20  
(12:00-13:00 を除く)

 **アコ・ブランドズ・ジャパン株式会社**  
[www.accobrand.co.jp](http://www.accobrand.co.jp)

# ローラミネーター 保証書

品名	ローラミネーター B65A1 / B35A3
品番	GDRB65A1 / GDRB35A3
保証期間	お買い上げから1年間

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき無償修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または弊社へお申し出ください。

お客様	お名前
	住所
	電話番号

## 個人情報のお取り扱いについて

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間経過後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託をする保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。

お買い上げ日	
--------	--

販売店	住所・電話番号
-----	---------

 **アコ・ブランドズ・ジャパン株式会社**  
[www.accobrand.co.jp](http://www.accobrand.co.jp)